



三反田小6年生が中根駅で花植えをしました(7/22)

おらが湊鐵道応援団報

第53号

勝田 阿字ヶ浦

3日間大盛況! 「東北の鉄道応援」チャリティー写真展

写真売上 233,000円 鉄道5社グッズ販売180,815円

応援団では8月19日から3日間、那珂湊駅2番線に停めた旧型気動車キハ222の車内を会場として「東北の鉄道応援」チャリティー写真展を開催しました。この写真展には、東日本各地のプロ・アマチュア写真家26名が写真を出展・販売、3日間の売上金は全額が寄付されました。

同時に駅ホームでは、東北・近隣の鉄道5社のオリジナルグッズ販売や、鉄道写真家・広田泉さんが被災地支援写真集をチャリティー販売し、こちらも大勢の人で賑わいました。広田さんは震災の起きた3月11日、地震発生時刻の1時間前まで湊線沿線を撮影していたこともあり、海浜鉄道に特別な思いがあるそうです。

参加した写真家の大半は写真展の期間中、自費で市内に滞在しました。テレビや新聞で報道されたこともあり、たくさんの沿線の皆様や鉄道ファン、そして応援団員らと写真家との交流も深めることができ、有意義な写真展となりました。

3日間の写真売上は、92点で233,000円となりました。これは義援金として全額が、震災後の乗客激減が続く青森県・津軽鉄道に贈られます。また、グッズの販売金は震災で大きな被害を受けた岩手県・三陸鉄道など5社に送りました。



スラリと並べられ販売された鉄道各社のグッズ

RACDA高岡から応援団へ義援金

20日夕、富山県高岡市の万葉線を応援するRACDA(らくだ)高岡の一行7人が来湊し、那珂湊駅で高岡市長の友好の書と、応援団への義援金7万円をいただきました。一行は同日夜の応援団・写真家との懇親会にも合流。地方鉄道の必要性を確認しあいました。



市長(右)から友好の書を受け取る村上市企画部長



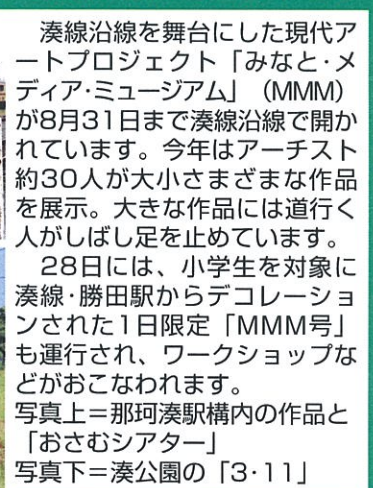
レトロなキハ222の車内を改装した写真展会場の雰囲気も好評でした



とても明るかった写真家のみなさん

MMM みなと・メディア・ミュージアム 8月31日まで湊線沿線で展示中

湊線沿線を舞台にした現代アートプロジェクト「みなと・メディア・ミュージアム」(MMM)が8月31日まで湊線沿線で開かれています。今年アーチスト約30人が大小さまざまな作品を展示。大きな作品には道行く人がしばしば足を止めています。28日には、小学生を対象に湊線・勝田駅からデコレーションされた1日限定「MMM号」も運行され、ワークショップなどがおこなわれます。写真上=那珂湊駅構内の作品と「おさむシアター」写真下=湊公園の「3・11」



温かいご支援に感謝いたします

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ひたちなか海浜鉄道も震災により大きな被害を受け、運行不能に陥っていましたが、7月23日、ほぼ4カ月半ぶりに全線の運行を再開いたしました。この間、ご利用の皆様にはご不便をおかけしたことをお詫びするとともに、あたたかい励ましのお言葉やお志しをいただいたことに深く感謝いたします。



7月30日の全線復旧記念イベントで、佐藤応援団長から吉田社長へ義援金約167万円の目録が渡されました

応援団及び会社へ届けられた義援金は、既に総額500万円を超えているほか、ひたちなか市へもふるさと納税の形で「湊線に役立ててほしい」との申し入れが相次いでいるとお聞きしています。また、復興支援のためのツアーやチャリティーイベントが相次いで開催されており、あらためて湊線が皆さんに愛されていること、これも元気に走り続けなければいけないことを実感し、運営側として身の引き締まる思いです。

こうした皆様のお力をいただき、湊線はこれからも地域とともに元気になるようがんばりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

ひたちなか海浜鉄道 取締役社長 吉田 千秋

魅力いっぱいの湊線



牛久市立第二中学校 1年 樋上 玲 くん

初めて湊線に乗車したのは6年前で、阿字ヶ浦まで往復しました。阿字ヶ浦の海岸を散策し、それから、何度か湊線に行くようになって、魅力に気がきました。去年の9月に、JRが発行している「小さな旅」に、ケハ601の車内を見学できるということが紹介されていたので、行ってみました。車内は、ロングシートになっていて、写真が沢山飾られていました。応援団の船越さんから、日本初のステンレス製ディーゼルカーだということを教えていただきました。



昨年11月の車掌体験。今はとても大人っぽくなりました

11月の「ファン感謝記念イベント」では、車掌体験をしました。那珂湊～勝田間を、旋回窓が特徴のキハ222に乗務しました。制服・制帽をし、本物の車掌さんになれました。旧型車両4連の運転は圧巻でした。

今年の2月、雪が降った日には、キハ3710を使用した「バレンタイン列車」に乗車しました。応援団特製のヘッドマークやサボ、水戸二高生の方による車内のラッピングが施されていて、温かみを感じられました。

翌月の3月には、東日本大震災が発生し、湊線は溜池が決壊するなど、多大な被害を受けました。社員や関係者の方が、一生懸命復旧に向けて作業をされている姿に感動しました。

5月に行われた「湊線7両連続撮影会」では、7色の列車を一度に見ることができ、嬉しかったです。運転が終了した、キハ202にも、ヘッドマークが取り付けられていました。地元産野菜の直売会では、ねぎと小松菜を購入しました。とてもおいしかったです。

那珂湊～中根間が開通したので、7月に行ってみました。当日はミキが運行されていました。車内では、みなと源太さんによるギターの演奏があり、素敵な声が車内に響き渡っていました。また、勝田駅では、キハ3710による試運転列車を撮影することができました。

7月3日には、勝田～平磯間が開通したので、那珂湊駅のレンタサイクルを利用して列車の撮影に行きました。森の中を走り抜ける列車をとらえることができました。

7月23日は、全線が復旧した湊線に乗りに行きました。湊線沿線は、みなとの多幸めしや、イチゴダッペ、ほっしい〜も、那珂湊焼きそばなど、おいしい食べ物の宝庫です。

まだ行ったことのない、「ドゥナイトマーケット」に、行ってみたいです。

これからも、湊線に乗って、魅力探しをしたいです。

※樋上君は月に必ず一度は湊線の写真撮影にひとりで行っています。撮影した写真は鉄道雑誌に掲載されるほどの腕前。頼りになる応援団員の一人です。

連載!! No.22 湊のおさむくん



好評の硬券フリー切符と応援券が9月から秋バージョンになります。秋の切符は「D型硬券」。応援券200円とフリー切符800円のセットで1,000円です。これで昨年12月から販売を開始した応援券は四季が揃います。4種類を那珂湊駅で呈示された方には、粗品を差し上げます。

秋バージョンの硬券フリー切符と応援券を販売

(9~11月) 湊線応援券 (200円) 湊線1日フリー切符 (ご利用日) 発行日: 23.9.1 大人800円 発行日から1年以内(平日)は限りなく

沿線や各駅の清掃・環境整備 ありがとうございます

7月3日に三反田の雲類警響さんからプランター20個とマリーゴールドやサルビアの花苗300本の寄贈がありました。今後、お仲間約10人で毎日の水やりと、草取りもしていただけるそうです。ありがとうございました。



駅名	9月4日(日)	10月2日(日)
中根	柳が丘・柳沢美田多・相金自治会	釈迦町 幸町 湊泉町
那珂湊	湊中央 湊本町 商店街	
殿山	七丁目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅の清掃は毎月第一日曜日 朝8:30~8:50です。

facebookの地域団体ファンページで全国9位にランキング!

- ◇応援団フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
- ◇応援団ツイッター <http://twitter.com/keha601>
- ◇おさむツイッター http://twitter.com/minato_osamu
- ◇線路脇の風景(ブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/magical_brothers_diorama_office



「乗車特典サービス」★那珂湊駅で発行する「乗車証明書」で参加各店独自のお買い物サービスや宿泊サービスが受けられます。